

## 用・排水対策 調査特別委員会

8月6日開催

### 九州北部豪雨時の対応

〔質問〕九州北部豪雨で佐賀江川流域の一部に避難指示等が発令されている中、蒲田津排水機場のポンプが稼働しなかったのはなぜか

〔答弁〕市としては稼働要請をしたが、水の流れが順流であるため、水門を閉めてポンプを稼働させるよりも多くの排水ができるという現場の判断であった。

〔意見〕電話による要請ではなく、直接現場に行つて協議を行うことが必要。今後は市民の不安を少しでも早く払拭してほしい。

〔質問〕今回の災害対応の総括も含め、国や県と排水対策の協議会を開催することだが、状況を詳細に解析し、正式な評価を出してほしい。市の考えは。

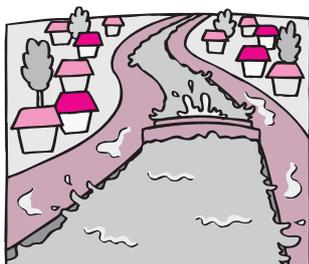
〔答弁〕マニュアルではなく現場での判断に頼らざるを得ないケースは、今後もある可能性はある。今回の対応が最善であったのか等を含め協議を行いたい。

### 排水対策基本計画策定の進捗状況

〔質問〕検討委員会の構成で、15名中4名が一般公募で委員会内に占める割合が比較的高いが、その理由は。

〔答弁〕市民生活に身近な問題に関して、より生活に密着した意見が期待できる。また、計画策定の際に、市民目線のわかりやすい観点からの提案を期待している。

〔意見〕市街地の浸水被害の一因に農地の宅地開発が挙げられる。その対応も計画策定の中で検討が必要。



〔質問〕市民参加により水

# 特別委員会

8月22日開催

## 自治基本条例 調査特別委員会

7月20日開催

### 講演「自治基本条例が幸せな住民生活をもたらすには」

自治基本条例に関する関心が、全国的に高まる契機となった北海道二セコ町の「まちづくり基本条例」の起草に深くかわられた九州大学大学院法学研究院主幹教授の木佐茂男氏を講師に招き、「自治基本条例が、



講演のようす

幸せな住民生活をもたらすには」というテーマでご講演いただいた。

### 市民参画制度に関する調査

〔質問〕インターネット市政モニター制度で、市は具体的に市民から何を聴こうとしているのか。

〔答弁〕事業を新規に立ち上げる場合や大幅に変える場合に、この制度を利用することがある。特に市民から広く意見を聴く中で、若い世代の意見を聴きたい場

合に有効だと考えている。

〔質問〕審議会の議事録に

ついては、全文筆記とするのか要点筆記とするのか。また、何日以内に公開するなどの規定があるのか。

〔答弁〕議事録の公開については、議事概要で十分足りると判断すれば議事概要の場合もある。また、公開の期日等は定めておらず、できるだけ速やかに公開することとしている。

〔質問〕市で統一した公開基準を決めないと、見る側の市民としてはわかりにくいと思うがどうか。

〔答弁〕審議会の情報公開は審議会の中で決めているが、議事録には委員名も出るため、発言の趣旨の確認等を行っている。委員数の多少により発言者にも内容の確認をする時間も違ってくるため、一律に期間を設けることは難しく、今のところ統一的な対応はしていない。しかし、言われる趣旨

は十分に理解できるので、審議会で判断するのか、市で統一するのかについて検討していきたい。

〔意見〕自治基本条例の中で、住民参加や協働という部分をルール化するわけだが、情報公開などに統一性がないとなると、市民の目からは、行政の受け皿の体制がとれていないと見える。

# 特別委員会

## 合併検証 調査特別委員会

6月28日、7月2日、  
8月6日開催

大和支所状況調査  
(5月)に続き、久保  
田、東与賀、富士、  
三瀬、諸富及び川副  
支所状況調査を実施

### ●来庁者の状況

支所間の出入りは見られるものの、来庁者数自体に大幅な変動はない。

### ●超過勤務の状況

災害発生時の対応や選挙、イベント業務など特殊要因が発生した場合を除いて、おおむね減少傾向にある。

### ●空きスペースの活用状況

活用されていない空きスペースが多い。

### ●合併による効果

①住民票や税証明等の窓口サービスについて、市

域が広域化したことにより、勤務地近くの支所の利用などが可能になった

②体育施設の利用や保育所への入所などにおいて、合併後の市全体の施設を利用できるようになった。

### ●合併による課題

①業務の統廃合による支所職員の減少などにより、災害発生時の迅速な対応に不安がある②本庁への業務の集約等により、支所に担当窓口がなくなつたにもかかわらず、身近な支所を訪ねて来られるケースが多く、対応に苦慮することがある。

### 【主な意見】

①地元職員が少なくなり住民が不安を感じているとのことだが、合併したのだから配置された職員で住民の不安を払拭していくべき②初めから支所ありきという考え方ではなく、旧佐賀市の校区制度の

考え方とのバランスをとる必要がある③現在の支所機能をより良好に維持するには、本庁との連携を密にとるなど、支所職員の意識の持ち方が重要④中山間地域の支所のあり方の議論を進めるに当たっては、地域性を考慮した慎重な検討が必要⑤合併による新佐賀市の一体化を考えるならば、いつまでも支所を存続させて地域間格差を残すべきではない⑥平成の大合併は、自治体を広域化するメリットを生かして行財政基盤を強化し、地方分権の推進に対応することなどが目的であり、今後の支所のあり方を考えるに当たっては、それを念頭に置く必要がある。



## 7月臨時会（7月12日）

7月臨時会を7月12日に開き、補正予算、副市長の選任及び市議会会議規則の改正に関する議案について審議し、すべて可決・同意しました。

第67号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算（第2号）

庁舎増築事業

6億8976万円

本庁舎増築に必要な土地を取得するための交換用地の購入に要する経費を計上した補正予算です。

【審議結果】 全会一致で可決



第68号議案 佐賀市副市長の選任について

神谷俊一氏の退任に伴い、赤司邦昭氏を選任する議案です。

【審議結果】 全会一致で同意

第69号議案 佐賀市議会会議規則の一部を改正する規則

議員定数に関し協議又は調整を行う「議員定数検討会」を議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場として追加するため、佐賀市議会会議規則を改正する議案です。

【審議結果】 全会一致で可決

第69号議案の可決を受け、議員定数検討会の構成員を下記のとおり選任しました。

### 議員定数検討会

- ◎福井久男
- 山本義昭
- 山田誠一郎
- 白倉和子
- 中本正一
- 亀井雄治
- 川原田裕明
- 山口弘展
- 福島龍一
- 田中喜久子
- 江頭弘美
- 重田音彦
- 山下明子
- 黒田利人

◎座長

○副座長

## 議員定数検討会 を発足

佐賀市議会の適正な議員定数を検討するため、7月12日に議員定数検討会を発足しました。

9月末までに5回の会議を開催し、類似規模市等の議員定数の状況や議員定数の検討における視点等を確認し、適正な定数について検討を行いました。

また、下記のとおり市民のみなさんのご意見をお伺いすることが決定しました。



## アンケート

### 「佐賀市議会議員の定数」～あなたのご意見は？～

佐賀市議会では、来年の市議会議員の選挙に向け、適正な議員定数（議員の総数）の検討を行っています。つきましては、市民のみなさんの率直なご意見等をお聞かせください。是非、ご協力をお願いします（以下の設問にお答えください）。なお、ホームページには他都市の議員定数等の状況を掲載しています。<http://www.city.saga.lg.jp/> の「市議会からのお知らせ」をご覧ください。

**【設問1】** 佐賀市の人口約24万人に対して、市議会議員の定数は38人です。

この定数を、どう思われますか。

- ① 多い（人ぐらいが適当）      ② 少ない（人ぐらいが適当）  
③ 適当      ④ その他

**【設問2】** 議員定数について、ご意見等ございましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

ご回答は、FAX又はメールでご提出ください（11月26日〆切）。

## 提出・お問い合わせ

佐賀市議会事務局 TEL 40-7310

FAX 25-5407 メール [gikai@city.saga.lg.jp](mailto:gikai@city.saga.lg.jp)

## 編集後記

9月定例会閉会后、認知症サポーター養成研修会が本会議場で行われた。認知症の理解を促すための寸劇では、職員による名演技に拍手喝采で、認知症の人と接するときの心構えや認知症と食事や運動の深い関係などを知ることができた。

現在、日本人の平均寿命は、男性が79・4歳（世界第8位）、女性が85・9歳（世界第2位）と長寿国であるが、長寿とは別に「健康寿命」という言葉がある。これは、認知症や寝たきりでの長寿ではなく、自立して健康に生活ができる期間のことであり、日本人の寿命の質はどうかということでも厚生労働省が初めて全国調査を行った。その結果、男性1位が愛知県（71・7歳）、女性1位が静岡県（75・3歳）、静岡県は男性も2位に入っていた。

ここに注目。静岡県はお茶の消費量が全国1位。なんと全国平均の2倍のお茶を飲んでいる。この緑茶に含まれているカテキンは、糖尿病や動脈硬化を予防する効果があるとされており、静岡県の「健康寿命」の秘訣は緑茶にあるのでは。実は、私も以前から緑茶（粉茶）を牛乳やヨーグルトに入れて飲んでいる。

このように、日常の食べ物に気を配ることが、生活習慣病のみならず、将来の認知症から身を守る1次予防にもなると思うので、みなさんも緑茶と適度な運動に心がけて「健康寿命」をのばしてください。

（重松 徹）